

作品発表

クール・フェミニン (イブニングドレス)

浅井 淑子

衣食住に及ぶ人々の生活圏にて、ここ2~3 ①
年来より“本物指向——”といった傾向が強ま
って来ております。

服飾の面にて、一時を風びした似而非モード
はすたれ、正統性=つまり、高度な技術の裏
付けによる、たしかな製作——。そして、デザ
イン面においては、個性の表現を優雅さとか、
品柄の高い範疇で、あるいは、それぞれの着る
目的に適合する、着易さを求める=などといっ
た、原則的な内容に再帰しております。

そしてこれらの中でも強い比重を占めるのは、
“高級素材”の扱いです。正統性に帰依するこ
とにより、デザイナーの誇大な主張が巖にいま
しめられるため、必然的に、豪華で、高額な素
材を用いて、作品に変化を見出そうとするのは ②
まことに容易なあり方に考えられます。

しかし、経済力のない若い学生を指導する立
場にある者にとっては、こゝに何等かの工夫や
方法を定めてやらなければなりません。同時に、
現今の世界的な不況下にあって、経済性に基き、
しかも、豊かさを表現する創案活動は、ひとり
若い世代だけの為ではない点を痛感させられま
す。

作品「クール・フェミニン」は、以上のような
視点から、若い人の生活に応じつつ、正式な
ドレスとしての目的に添う華麗さを表現する意
途のもとにデザインした作品です。

(発表「日本デザイナークラブ、74-75秋冬モードショー」)

デザイン解説

主要素材は、格安であるが、ゴージャスな雰囲気をかもし出す黒の綿ビロードを使用。カット①のドレスは、ケミソルタイプのトップに白レザーを——そしてミドリフを菱形にくり抜き、ピンクのグログランを当てて、白黒のクールな感じに華やきを添えてみた。②は、ベアードレスには欠かせない、アンサンブルとして、ケープをフルラインに表現してみた。

